

ARTS MANAGEMENT SEMINAR

2024

2.1(thu)-3.17(sun)

いつでも
どこでも
みれる

ONLINE PROGRAM

全国劇場・音楽堂等職員
アートマネジメント研修会



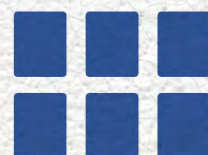
令和5年度文化庁委託事業
劇場・音楽堂等基盤整備事業

オンライン配信プログラム

配信期間：令和6年2月1日[木]～3月17日[日]



THE ASSOCIATION OF PUBLIC THEATERS AND HALLS IN JAPAN
公益社団法人全国公立文化施設協会



令和5年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

ONLINE PROGRAM

オンライン配信プログラム 配信期間：令和6年2月1日(木)～3月17日(日)

お互いにこれはなんだろうと興味を持って
つながる・場を共有する

■近藤良平氏に聞く 「埼玉回遊」と休館中の事業実施について

講師：近藤良平 振付家・ダンサー、コンドルズ主宰、彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督
進行：大堀久美子 編集者、ライター

講義概要 彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修工事のための休館を機に始まったプロジェクト「埼玉回遊」。埼玉県の各地を巡り、多彩な文化を探索する本プロジェクトを中心に、近藤良平氏の地域での活動と、劇場休館中の事業実施についてお話を伺います。



竹間沢車人形保存会@三芳町 ©湯越慶太

上映機材を持ってなくてもできる？
予算はどれくらい？

■中小規模館でもできる 「映画上映会」の可能性を考える

講師：前原美織 山口情報芸術センター[YCAM] 学芸普及課 シネマキュレーター
モデレーター：木全義男 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

講義概要 デジタルシネマとは、映画上映の機材は、など映画上映の基礎的なことを学び、予算の少ない中小規模館でも「こうすればできる」というノウハウやホールを上映に適した環境にする工夫、集客の工夫を考えます。併せて、YCAMの先進的な事例を通して公共劇場で映画上映を行う意義についても深掘りします。

線引きが難しく何も言えなくなる？
ハラスメントかどうかの基準とは

■劇場・音楽堂等におけるハラスメント ～予防のための基礎知識とケーススタディ～

講師：植松侑子 舞台芸術制作者、
上級ハラスメント対策アドバイザー((一社)ハラスメント対策協会)
モデレーター：鈴木順子 (公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 副館長

講義概要 2022年4月1日より、パワハラ防止法に基づき、事業主は職場におけるパワーハラスメント防止のための措置を講じることが義務化されました。まずは「ハラスメントとは何か」「どういったことがハラスメントに当たるのか」という基礎知識を身につけ、劇場・音楽堂等で起こり得るケースについて考えます。

管理主体の“業務”から
顧客志向の“事業”へ

■シリーズ「貸館を考える」 ～先進事例に学ぶ貸館事業について～

講師：生田隆明 (公財)三重県文化振興事業団 三重県総合文化センター
施設利用サービスセンター 施設運営課 課長
モデレーター：間瀬勝一 (公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

講義概要 各施設で行われている「施設提供事業」いわゆる貸館事業の活性化を期待するプログラム。ホール貸し出し時のオプションサービスを考え提供するなど、ホスピタリティの向上で利用者の満足度を上げる工夫をしている三重県総合文化センターの事例を紹介し、戦略的に貸館を考え利用率の向上を図るきっかけとする講座です。

消費エネルギーを低減するには？
デマンド値とは？

■あなたの施設でできる、光熱費節約のヒント

講師：長谷川祥久 (有)香山建築研究所 代表取締役所長
南井克夫 (株)環境エンジニアリング 代表取締役
モデレーター：矢作勝義 (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

講義概要 各公立文化施設で喫緊の課題となっている光熱費の高騰。ご自身の施設で最もエネルギーを使用しているのは何か、どの季節にどれくらい使用しているか、把握していますか？大きな削減は難しくても、何らかの工夫で数パーセントでも節約できないか…光熱費節約の可能性を考えます。

2.1(thu)-3.17(sun)

公開フォーラム

■ 劇場を開く、市民と繋がる、地域を創造する。 ～劇場のコーディネーター機能を開拓する～

講義概要 鑑賞の場としてだけでなく、人が集まり交流、活動する場、そして地域の創造、再生、発展に寄与することを期待される劇場・音楽堂等。地域に根差し、市民やさまざまな団体と連携、協働し、「新しい広場」「世界への窓」として地域の文化拠点になるために何が必要なのか。さまざまなフィールドの最前線で活躍する3人の講師と共に、これから次の一歩をどこに向けて踏み出したらいいのかを考えます。

□ はじめに

モデレーター：水戸雅彦 (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

“対話の文化”のもと 進化する住民参画

□ プログラム(1)

市民主体の活動が可能性の限界を超えていく
～みの～れで育まれた住民と行政の共創～

講師：中本正樹 小美玉市生活文化課 四季文化館みの～れ 館長補佐・事業統括

「行ったらあかん」と言われたまじで 安心して表現できる場をつくる

□ プログラム(2)

釜ヶ崎芸術大学は誰もが表現者
～社会包摂の表現の場づくりから地域へ～

講師：上田假奈代 詩人、NPO法人こえとことほところの部屋(コロールーム)代表理事

つまらない？ おもしろい？ 価値・意味は〇〇によって変化する

□ プログラム(3)

生きるためのそうぞうする力
～地域社会に新しい変容を促す～

講師：藤浩志 美術家、秋田市文化創造館 館長、秋田公立美術大学 教授

ゆるやかなネットワークをつくる “開く”の裏には“閉じる”がある

□ プログラム(4) クロストーク

講師・モデレーター全員

人材養成講座

危険なこと 禁止行為 施設側で判断すること

■ 舞台技術と安全管理 ～工夫から生まれる安全対策～

講師：伊藤久幸 (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

講義概要 技術スタッフだけでなく、すべての劇場・音楽堂等職員が考えていくべき舞台の安全管理についてお話しします。危険なこと、禁止行為、施設側で判断すべきことは？札幌文化芸術劇場 hitaruでの安全対策の取り組みについてもご紹介いたします。

■ 過年度プログラム再配信

文化政策と劇場・音楽堂等(令和3年度プログラム)

講師：柴田英紀 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応 (令和3年度プログラム)

講師：間瀬勝一 (公社)全国公立文化施設協会 名譽アドバイザー

自治体文化政策と劇場・音楽堂等(令和4年度プログラム)

講師：中川幾郎 (公社)全国公立文化施設協会 名譽アドバイザー

ワークショップ(対面開催)

ワークショップ1 ※受講申込は終了しました

次世代リーダー養成プログラム

講師兼モデレーター：柴田英紀 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

開催日：令和6年2月14日(水)・15日(木)

会場：東京都中小企業会館 講堂

ワークショップ2 ※受講申込は終了しました

『広報の考え方の基本』～ワークショップ

講師：阿南一徳 東京藝術大学 演奏芸術センター 准教授

開催日：令和6年2月20日(火)

会場：東京都中小企業会館 講堂

ONLINE PROGRAM

受講申込

詳しくは
ウェブサイトをご覧ください。

全国劇場・音楽堂等職員
アートマネジメント研修会ウェブサイト

www.zenkoubun.jp/arts_management/



ご注意：

- ・視聴に関わる通信費用は視聴者のご負担となります。
- ・配信映像は、ネットワークの回線状況や視聴者側の環境により、再生が出来ない場合や画面・音声不安定になる場合があります。ご了承ください。

主催：文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会

問い合わせ先：

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階

tel 03-5565-3030 fax 03-5565-3050

e-mail art@zenkoubun.jp